

活動紹介文（災害健康危機管理 WHO 協力センター/兵庫県立大学地域ケア開発研究所）

2018年から2020年12月末にかけて、国際的なキャンペーン「Nursing Now!」が行われています。本キャンペーンは英国の議員連盟によって始められ、WHOやICNのパートナーシップを得て、グローバルに展開されています。Nursing Nowキャンペーンの目的は、看護職が適切に評価され、保健医療政策に影響を及ぼすことができるように、看護職の可能性を最大限に発揮できる環境や条件を整えることです。日本においては、今年の5月にNursing Nowキャンペーン推進のための実行委員会が発足しました。（特設ホームページはこちら→[https://www.nurse.or.jp/nursing/practice/nursing\\_now/nncj/index.html](https://www.nurse.or.jp/nursing/practice/nursing_now/nncj/index.html)）

兵庫県立大学地域ケア開発研究所は、災害健康危機管理 WHO 協力センターとしてNursing Nowキャンペーンの実行委員を担っています。2019年5月12日には、キャンペーン活動のキックオフ・イベントとして、明石看護キャンパスの「櫛まつり」において、Nursing Nowキャンペーンを紹介する展示を行いました。7月に同キャンパスで実施された国際研修では、社会の中で看護が力を発揮するために必要なスキルについて、バングラディッシュの大学病院に勤務するナースとディスカッションを行いました。



<写真：バングラディッシュからの研修参加者と兵庫県立大学の教員>



<写真：櫛まつりにおいてまちの保健室ボランティア、  
兵庫県立大学大学院共同災害看護学専攻学生、地域ケア開発研究所教員>